ハーモニーしんぶん

E-mail:kodomo1@kcv.ne.jp　http://hamomira.or.jp/

2021 年 3 月 12 日発行
第100号

認定特定非営利活動法人
ハーモニーネット未来
(旧：子ども劇場笠岡センター
〒714−0081 岡山県笠岡市笠岡 5909
TEL（0865）63−4955
FAX（0865）63−4950

～心にひびき、地域に求められる情報誌を！～

1987 年「子どもたちに夢を、たくましい豊かな創造性を！」を合言葉に笠岡子ども劇場を立ち上げ、34 年目を数えています。

現在の社会事業、内容豊富な紙面づくりをめざした「ハーモニーしんぶん」も早いもので、今回、記念すべき 100 号を迎えました。

シリーズでは、世間の興味関心のあるものを取り上げることで、継続した愛読者が生まれています。

【情報誌】「子ども劇場しんぶん」第 1 号～第 86 号
「ハーモニーしんぶん」第 87 号～

1987 年 10 月～　**笠岡子ども劇場**設立
1999 年 11 月～　特定非営利活動法人（ＮＰＯ法人）格取得
名称『**NPO 法人子ども劇場笠岡センター**』
2013 年 3 月～　認定特定非営利活動法人（認定ＮＰＯ法人）認定
名称『認定特定非営利活動法人（**認定 NPO 法人)子ども劇場笠岡センター**』
2016 年 9 月～　名称変更　子ども劇場笠岡センター改め、ハーモニーネット未来
名称『認定特定非営利活動法人（**認定NPO法人）ハーモニーネット未来**』

【目的】今を生きるすべての人の尊厳が守られる生活ができる地域社会の創出をめざし、子育て情報・生活情報・社会状況・文化・食育等を取り上げ発信する。地域社会との関係や、多世代のふれあい等、共生をテーマに紙面づくりを行う。当法人のめざすところや、同時に活動内容を会員及び地域の人に伝え、紙面上での交流を図る機会とする。

【寄稿】シリーズ『こどもの本が好き』（阿藤美穂子さん）
シリーズ『食卓に吹く風』（石井廣子さん）
シリーズ『子どもの貧困』
（木下周さん改め、第 100 号より小角靖子さん）

【目　次】

情報誌　・・・・・・・・・・・・・・・・P1
クラウドファンディング・・・・・・P2
「あおぞら」＆ひよこクラブ・・・・P3
大井児童館・・・・・・・・・・・・・P4
ハーモニー西大戸・・・・・・・・・・P5
舞台鑑賞・・・・・・・・・・・・・・P6～7
本が好き　・・・・・・・・・・・・・・P8
食卓に吹く風　・・・・・・・・・・・・P9
子どもの貧困　・・・・・・・・・・・・P10
赤い羽根お礼・・・・・・・・・・・・・P11
お知らせ・・・・・・・・・・・・・・・P12

■クラウドファンディング、ご寄付のお礼

～コロナ禍の今、「おなかいっぱい食べるしあわせ」を子育て家庭に届けよう！プロジェクト～

■募集期間：
11 月 11 日(水)～
12 月 25 日（金）
目標金額：330 万円
実施主体：こどもを主体とした地域づくりネットワークおかやま
・一般社団法人子どもソーシャルワークセンターつばさ
・ＮＰＯ法人オレンジハート
事務局：認定ＮＰＯ法人ハーモニーネット未来

■寄付金額:3,632,000 円
寄付人数:378 名

新型コロナウイルス感染拡大により世の中が一変し、各種イベントもなくなり、子どもたちの成長、発達を懸念しています。また、長期化によりさまざまな分野に影響が出ており、これからもっとひとり親家庭のみならず、経済的にも困窮する家庭が増えてくるのではと予想されます。

「コロナで、給料が半分になった」「パートの時間が減った」「仕事がなくなった」等、多くの声が寄せられています。また、コロナ禍の影響で在宅時間が増え、ドメスティックバイオレンス（ＤＶ）に至り、離婚したケースもあると聞きました。

今、我々に何ができるか・・・。

そこで、フードバンク・フードドライブ活動を活用し、「おなかいっぱい食べるしあわせ」を岡山県下の子育て家庭に届けたいと願い、思い切って、クラウドファンディングに挑戦することとしました。

おかげさまで、378 名からのあたたかい寄付をいただくことができました。

誠にありがとうございました。

目標が達成したことで、岡山県 27 市町村の 842 家庭に食品・日用品等をお渡しすることができました。

多くのみなさまの寄付金、物品寄付、力強いお声掛け等、それぞれができる形でご参加いただき、本取組を実施することができましたことに心よりの敬意を表し、感謝申し上げます。

事務局にはお渡ししたご家庭よりたくさんの感謝の言葉が届いており、あらためて継続した支援が必要だと感じております。

貧困問題が、食品・日用品をお渡しするだけで解決することはないのですが、「おなかいっぱい食べるしあわせ」を届けることで、『あなたは一人ではないよ、応援してくれる人がいるよ』という安心感を届け、人と人がつながり、これが入口となり、真の解決につながればと願っております。

昔に比べ、地縁、血縁が希薄になっていると感じている今だからこそ、困りごとを仲間同士で助け合う信頼関係がとても重要です。

子どもの貧困等、一人の困りごとは、社会全体の問題ととらえ、行政や企業、ＮＰＯ法人、各種団体、多くの市民など多様な主体による、それぞれがもつ強みを集め社会で解決していく仕組みをつくっていきたい、今回の本取組みがそのきっかけになればと考えております。

突然始まったコロナ禍ではありますが、世界中の人々がこのような状況の中で、あらためて人間の幸せとは何か、豊かさとは何かを問い直し、人間が本来もっている他者に対してのやさしさや、思いやり、共感力を発揮し、助けあっていきたいと思っています。

ひよこクラブ
■『yagyu photo school』
日時：2月19日(金)
10:30～11:30
場所：
ハーモニーネット未来2階
講師：近間努さん
(柳生写真館)
参加者：大　人 5名
子ども 5名

かわいいわが子を、より一層かわいく撮るコツを教えていただきました。

まずは、写真を楽しみながら撮ること、うちの子がかわいいな、と思いながら写真を撮るのが一番かわいく撮るコツだということです。

正しいカメラの構え方やさまざまな構図で撮ってみる方法など、コツを教えてもらった上で写真を撮り、以前の写真と見比べてみると写真の違いにびっくりする声があがっていました。

よい写真を撮るには１ヵ所にとどまらないことを念頭に置き、子どもが遊んでいるところを追いかけて撮っていきます。撮ったものを講師に見てもらいながら、アドバイスを受け、講師の写真と見比べ、「こう撮るとステキな写真」「おもしろい写真になるよ」というのを教えていただきました。

みんなで楽しみながら photo school を開催することができました。

子育てひろば「あおぞら」
■「おひなまつり」
日時:2月26日(金)
10:30～11:30
場所:
ハーモニーネット未来2階
プログラム：
①はじまりのうた
②手ぶくろシアター
「ひなまつり」
③手あそび、バクさん
「うれしいひなまつり」
④ペープサート
「いないいないばぁ」
⑤工作
「おひなさまづくり」
⑥写真撮影
参加者:大　人 10名
子ども 10名

子どもたちの健やかな成長を願うおひなまつりをしました。

はじめに手袋シアターや、「うれしいひなまつり」を歌い、気分を盛り上げていきました。

バクさんの手あそびは、始めて聞く人も多かったのですが、お母さんや子どもも楽しそうに一緒に踊ることができ、ペープサートではいろいろな動物が出てきて子どもたちも喜んで見ていました。

みんなのよく知っている“いないいないばぁ”のペープサートだったので「ねこさんかな？」「犬さんかな？」と期待をもって見ることができました。

工作では、紙コップにパーツを張ったり、顔を描いたり、マステを貼り、かわいいおひなさまをつくり、お母さんたちもできあがった作品を見て「かわいい！」と喜んでいました。

完成したおひなさまを持ち、手づくりのおひなさまの衣装を着て、おひなさまのフォトフレームで順番に記念撮影。お内裏様とおひなさまに扮した子どもたちはとてもかわいく、お母さんたちも大満足の日となりました。

児童館イベント
■『わくわくタイム』
12 月 25 日(金)～
1 月 7 日(木)
14:00～14:30
場所：大井児童館
参加者：幼　児 2 名
小学生 16 名
中学生 3 名
大　人 6 名
計　 27 名
(5 回の延べ人数)
各回共通：リズム遊び
「ぼよよん行進曲」
12/25：どんじゃんけん
12/26：長縄跳び
12/27：じゃんけん遊び
1/4：ストラックアウト
1/6：ころがし
ドッヂボール

冬休みの園庭はかなり寒さが厳しく、夏休みほど幼児の参加はなかったが、小学生や居合わせた中学生たちが学年や学校の違いを超えて一緒に楽しく遊びました。

馴染みのある遊びに集まった子どもたちは、コロナ対策のためにアレンジされたルールに興味をもち、しっかり身体を動かすことができました。

コロナ対策のため家で過ごす時間が増えるなか、身体を動かす楽しさを共有することができました。

じゃんけん遊び
身体全体を使って、後出しじゃんけん
「最初はグー！勝ってね、ほい！」

ぼよよん行進曲
曲に合わせて白線の上を歩きます。
後ろには下がれません。
ぶつからないように、そして、手を広げる振り付けのところで人に当たらないように歩いてみよう！

ころがしドッヂボール
小学 1 年生から中学 1 年生までが一緒にプレー！2 個のボールは気が抜けないぞ！

地域子育て拠点事業
■にこにこタイム
「ふれあい遊び＆
育児相談」
日時：2 月 15 日(月)
10:30～11:10
参加者：幼　児 3 名
小学生 4 名
講　師：藤井暁子さん
(笠岡市保健師)

コロナ禍で、家で過ごす時間が増えている今、道具を用意することなく気軽にできるふれあい遊びを楽しみました。

長年親しまれているわらべ歌は、子どもたちの笑顔を引き出し、親子のスキンシップがより心地よいものになったと感じています。

また、布一枚あれば顔を隠したり、風を送ったりする遊びができることを知り、身近なものをつかって豊かな親子の時間を過ごす体験となりました。

いないいないばあ!!

保健師からは、年齢に応じて見られる子どもの姿や気持ちについて具体例とともに説明があり、我が子の成長の見通しを図ることができました。

また、空いている時間に簡単にできるストレッチを体験。リラックスする方法を教えてもらい、お母さんがストレスを溜め込まずに子どもと向き合うヒントをたくさん得ることができたにこにこタイムでした。

■小規模多機能型居宅介護　ささえ愛の家ハーモニー西大戸

住み慣れた自宅での生活、あきらめないで！

■「安心」をキーワードに最期まで、自分らしくを支えます

誰もが年をとっても介護が必要になっても、住み慣れた自宅や地域の中で家族や親しい人たちとともに、最期までその人らしい人生を送りたいと望んでいます。

「ささえ愛の家ハーモニー西大戸」は、そうした自宅での生活を送り続けたいという高齢者や家族の願いに応えます。

介護を必要とする人の自宅を中心に、本人の状態や家族の必要に応じて、「通い」「訪問」「宿泊」の３つの在宅介護サービスを365日24時間体制で組み合わせて、利用者と家族を支える登録制のサービスです。

舞台鑑賞の
かんそう

KOYO マイムライブ!
「大道芸バージョン」 TRIO

とき：2020 年 11 月 7 日(土)15:00~
会場：笠岡市老人福祉センター

えるべーた
エレベーター
おもしろ
かった

3才の息子が
「おっきゃ」と笑って
喜びました!

今度はチャーリーしてください。　寿

たのしかったー‼　　奈々＆龍人

ピーちゃんがそらとんでたのがおもしろかった
しろがおもしろかった
しろがホネをちゃんとくわえるのがびっくりした
りりか

たくさんの演目が見られて
盛りだくさんでした。
白い犬は初めて見ました。
ソーシャルディスタンスを保っても、
近くで細かいところまで見られました。
たのしかったです。　　愛

犬の動きがスゴカッタ　　慶

しろのところがよかった　　孝典

バターがとけていくところがおもしろかった

シロがほんとの犬みたいで良かった。　　謙一

とき：2021年3月12日(金)18:30～

会場：笠岡市保健センターギャラクシーホール

ものがたり

昔 あるとき、あるところに
はなのき村という村がありました。
はなのき村はのどかで美しい村です。
はなのき村の人々はみな、心のやさしい人々でした。
またあるところに盗人がいました。盗人は弟子の少年を連れていました。
少年はカクベエという名前です。二人は町や村で盗みをしながら旅をしていました。

人に しんようされる というのは、なんという うれしいことでありましょう。

「花のき村と盗人たち」より

劇団うりんこは

1973 年創立。長い歴史を持つ児童劇の専門劇団です。
子どもや若者たちが「自分たちのこと」として共感できる芝居を創りつづけています。

名前の由来

「うりんこ」とは、いのししの子どものこと。
いのししの子どもの背中には「まくわうり」みたいな、しま模様が入っています。「うり」の子どもみたいだから「うりっこ」とか「うり坊」とも呼ばれています。
素敵な舞台を届けに、いのししみたいに真っ直ぐ走っていこうと劇団の名前にしました。

劇団うりんこ

脚本：北村直樹　演出：和田紀彦　美術：方勝　照明：四方あさお
衣裳：さくま晶子　音楽・音響：ノノヤママナコ　振付：下出祐子
宣伝美術：イラスト 長野ヒデ子・デザイン 濱田千寿

■阿藤美穂子

昨年、浅口市金光町で、重松清さん原作「とんび」の映画のロケが行なわれ、話題となりました。
重松さんの作品は、家族の絆や友達との友情など、人と人とのつながりが温かい視点で描かれていて、読んだ後心がほっこりします。
この短編集は、コロナ渦で教室にいれなくなってしまった 2020 年の春に編集されました。表題の「カレーライス」は、小学 5 年生の国語の教科書に掲載されている作品です。
重松さんは、あとがきに「教室で出会った〇〇を大切にしてほしい。愛おしんでほしい。」と書かれています。
人と人との出会い、つながりがコロナで失われた今こそ、大切にしたい名作集です。

『カレーライス
— 教室で出会った重松清— 』
作：重松　清
出版社：新潮社

『103 歳になってわかったこと
一人生は一人でも面白い—』
作：篠田桃紅
出版社：幻冬舎

先日の新聞で美術家　篠田桃紅さんが 107 歳で亡くなられたという記事を読み、以前読んだこの本を再び、読み返しました。
既成の書の形にとらわれない独自の墨による抽象表現を確立した桃紅さんの生き方に、改めて感動しました。
今回、心に響いた言葉は「自分の心が一番尊い、と信じて自分一人の生き方をする。」です。
自分を生きる勇気が湧いてきました。

■食卓に吹く風（35）
「#わきまえない女たち」にエールを

■日本の女性の地位の低さが露わに

3 月 8 日は国際女性デーだそうです。20 世紀初めの女性参政権を求めるアメリカの女性たちの行動から始まりました。

1977 年の国連総会で「女性の権利と世界平和のための国連の日」と決められ、今は世界的な取り組みとなっています。今年のテーマは「リーダーシップを発揮する女性たち：コロナ禍の世界で平等な未来を実現する」というもの。

コロナ禍で経済が停滞し、パートや非正規雇用で働く女性が圧倒的に多い日本で、女性の自殺者が目立って増えてきているとか。

おりからマスコミで大きく取り上げられた、森元東京オリンピック組織委会長の差別発言によって、日本の女性の地位の低さが大きくクローズアップされることとなりました。

■自分にもあったわきまえ癖

「女性がたくさん入っている会議は時間がかかる」という森氏の発言が、何故今これだけの反響を巻き起こしたのでしょうか。「競争意識が強い。自分も言わなきゃいけないと思んでしょうね」と続きますが、女性の発言は議論のためではなく、自己アピールのためと考えているからではないかと識者は分析します。そして「組織委員会に女性は 7 人くらいおられますが、みんなわきまえておられます」となるのです。

『いかなる差別も受けることなく』と揚げた五輪憲章の元での、報道陣に公開された会議での発言だっただけに、女性は勿論、男性からも大きな反発の声が上がりました。

「どの世界にも“森さん”はいる、わきまえず声をあげ続ける」と SNS や街頭で女性たちが発信しました。発言の翌日の夜にはネット署名サイトが立ち上がり、1 日で 8 万人を突破。再発防止を求めて 15 万 7 千人を超える署名が組織委に提出されました。

女性や若い世代の意識は大きく変化しつつあります。彼女たちがこんなにも敏感に反応したのは、自分たちの足元にも同じことがあると切実に感じたからでしょう。森さん個人だけの問題ではなく、日本の社会構造の問題と受け止めたからではないでしょうか。男性中心の社会のなかで頑張ってきた女性たちが、周囲の男性に合わせたわきまえ癖が自分にもあったと語っています。

■15 年で開いた日仏男女格差

順 位	国 名
1	アイスランド
2	ノルウェー
3	フィンランド
4	スウェーデン
5	ニカラグア
6	ニュージーランド
7	アイルランド
8	スペイン
9	ルワンダ
10	ドイツ
15	フランス
19	カナダ
21	英 国
53	米 国
76	イタリア
81	ロシア
106	中 国
108	韓 国
121	日 本

ジェンダーギャップ指数
上位国及び主な国の順位

世界経済フォーラム発表の各国の男女格差を測るジェンダーギャップ指数で、日本は 153 ヵ国中 121 位とかなり恥ずかしい順位です。でもフランスも日本も、女性の参政権が認められたのは第二次世界大戦後のことで、さほど差はありませんでした。1979 年に国連の女性差別撤廃条約ができると、条約締結国 189 ヵ国中 114 ヵ国が、条約の実効性を高める「選択議定書」を批准し、国内法を整備してきましたが、日本はまだ批准していません。性別役割分業の習慣が根強く、長年議論され賛成世論が多数を占めるようになった「選択的夫婦別姓制度」も、「家族の絆が壊れる」という古い家族観が理由で採択されないのです。

社会のルールを決める国会や地方議会の場での遅れは、女性の数が各国と比べて極めて少ないことと直結すると思います。少子化の問題でも、男女ともに差別のない社会で働いて生きていける環境をづくりこそが少子化の歯止めにつながるのに、“婚姻支援”など的外れな政策は笑止千万です。おまけに少子化問題で質問に立つ女性議員に「アンタが産めばいいんだ」などとヤジを飛ばす議員がいること自体日本の現状をもの語っています。

性暴力被害でも不起訴や無罪判決が相次ぐなど、問題は山積していますが、災い転じて福となすことが大切です。これを機に潮目を変え、遅ればせながら世界標準をめざしていける若い世代が育っていると感じています。　(石井広子)

■コロナ禍の中で
ー多和田葉子さん言葉

小角靖子

作家多和田葉子さんが今年のはじめに、新聞のインタビューにこんなことを答えている。読んだ人も多いと思うけれど、みんなでもう一度味わいたいと思うので書かせてもらう。

■忙しさから自由になる社会

―― 2021 年はどんな年になっていくのでしょう。

分かりません。ただ、世界はゆっくりと回復していくと思います。
風邪で高熱を出して寝込んでいた人がゆっくりと起き上がり、おかゆを食べるみたいに。パンデミックによって一度は失ってしまったもの、失ったことで気付かされた価値あるものを、ゆっくりと一つひとつ選び直していく。
以前のように、より早く、より多く、と駆り立てられるのではなく、本当にほしいもの、出会いたい人、行きたい旅をじっくりと選んでいく。
そうやって人々が選び直した先にある世界は、コロナ前とは違う、もう少し静かな世界になっているのではないでしょうか。悲しい静けさではなく、落ち着いた味わい深い、人間にも地球にも優しい静けさです。
ドイツ語で言えば、音が聞こえない、という意味の still（静寂）ではなく、むしろ心の静けさを指す ruhig。せわしなさから自由になり、じっくりと大切なものを味わえる世界です。

多和田葉子さんは 1960 年生まれのドイツ在住の作家。だからインタビューの応答にドイツ語が出てくる。ノーベル文学賞に一番近い日本人と言われている。
このインタビューを紹介しただけでもう充分な気がする。
「地球にちりばめられて」「星に仄めかされて」そして 3 部作の最後はまだ出ていない。すごい作品で、読み出したら離れられない。
生まれた国を気候変動か放射能汚染かで失ってしまった若者が北欧を放浪して、人々と出会うディストピア小説と言われる作品なのに、発見に満ちている喜びがあるのです。

■「星に仄めかされて」より

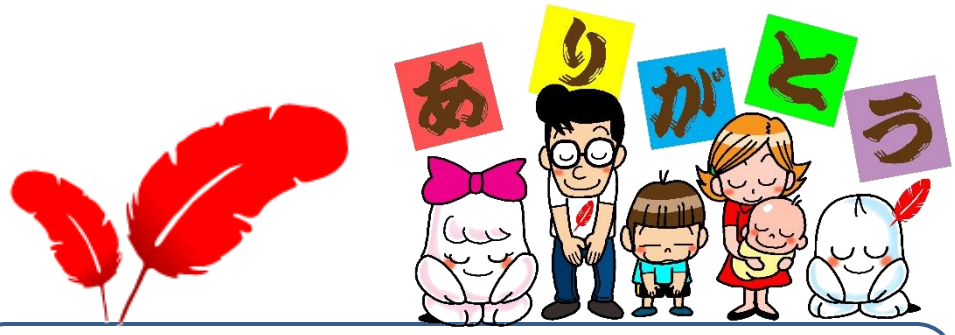
例えば、「本当に嫌な人だ」と職場でも意見が一致している精神科医と恋愛する中年ナースが語ります。
「彼は嘘をつかない、人の心がわからないからいつも自分のわがままを押し通す。だから信用できて、どんな反応がかえってくるかいろいろ試す楽しみがある。この年になってやっと恋愛ができるようになって嬉しい」

多和田葉子さんの愛読者になって、私にも変化が生まれました。ドイツ語が読めたり話せたりしたらいいなあと思うのです。いろんな言葉で交流する登場人物たちに魅せられて。
英語も出来ないのに。
ただ、思い出したのです。昔、むかし、看護学校の授業のカリキュラムの中にドイツ語があって、先生は語学が専門でない初老の医師でした。ドイツ語の教室に私も出ていたのです。しかし、残念ながらただ座っていたというだけでした。
昔といっても、現場の病院で医師はカルテはみんな英語です。ドイツ語で書くドクターもそこにはいましたが、化石扱いされていたと思います。
「もう使われていないんだが」と言いながら、その先生は熱烈に教えてくれたように思います。情熱を感じました。汗をかきかき。
しかし、看護学生は山ほど覚えることがあり、ドイツ語は難しすぎて迷惑でしかなかったのです。とうとう先生は試験をするのを諦めたと記憶しています。
今やっと分かります。あの先生はドイツ語が好きで、ドイツ語の美しさを知っていたのだと。
今の若者よりも、昔の若者は馬鹿だったと思うのです。
まだまだ、未来はみえません。
いろんな場所でコロナ後の世界を語り合いましょう。

多和田 葉子さん
1960 年、東京都生まれ
日本の小説家、詩人。
代表作：
『犬婿入り』
『ヒナギクのお茶の場合』
『容疑者の夜行列車』
『尼僧とキューピッドの弓』
『雪の練習生』
『雲をつかむ話』
『献灯使』　等

赤い羽根共同募金
「地域ささえあいプロジェクト」
■指定募金のお礼とご報告

■赤い羽根共同募金
「ささえあい
プロジェクト」



今年も、互助システム「ふれあい・たすけ愛サービス事業」への指定募金に、多くのみなさまがご協力してくださいました。
理事・スタッフ一同　心より感謝申し上げます。ありがとうございました。
今後ともよろしくお願いいたします。

募　金　期　間　：2021 年 1 月 1 日～2 月 28 日
募　金　金　額　：891,300 円（ご協力者：116 名）
※共同募金配分額は、後日決定されます。

赤い羽根共同募金
「地域ささえあい
プロジェクト」とは…

地域のさまざまな社会課題の解決のために取り組んでいるＮＰＯ法人等と協働し、社会課題の解決の必要性を広く県民にアピールするとともに、ＮＰＯ法人等の活動に必要な資金を募集していくものです。

募金額は、互助システム「ふれあい・たすけ愛サービス事業」充実のために活用させていただきます。

本事業は、介護保険などの制度では対象とならない生活支援を『困った時はおたがいさま』『大きな家族のように』を合言葉に実施している有償ボランティア（時間通貨）活動です。2014 年の介護保険法改正にともない、2017 年 4 月より「地域支援事業～介護予防日常生活支援総合事業～」が始まっております。その中で互助システムの本サービスが注目されております。

子どもから高齢者まで安心して、自分らしく生活できる地域社会を創っていくためにも、大きな家族のような気持ちで行う本サービスを今後も地域住民のみなさまと一緒に広げていきたいと心より願っております。

今後とも、活動を積み重ねることで、誰もが安心して生活できる社会への変革を最大の目的としていきたいと考えております。今と変りないご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

■ハーモニーネット未来からのお知らせ

（問い合わせ：0865-63-4955）

3 月からの予定

インターネットから

ハーモニーネット未来 検索

クリック

※ホームページでも右記の予定をみることができます。

日 程	時間	内 容
3/13(土)	10:00～	絵画教室(事務所2F)
14(日)	10:00～	文章教室(事務所2F)
16(火)	10:00～	ぴゅあそーる(事務所2F)
17(水)	10:30～	おはなしの会・育児相談(事務所2F)
18(木)	10:30～	子育てひろば「あおぞら」＆ひよこクラブ「おわかれ会」(事務所2F)
23(火)	10:00～	ぴゅあそーる(事務所2F)
24(水)	10:30～	おはなしの会(事務所2F)
27(土)	10:00～	絵画教室(事務所2F)
28(日)		フード＆ライフドライブ「てとて」
30(火)	10:00～	ぴゅあそーる(事務所2F)
31(水)	10:30～	おはなしの会(事務所2F)
4/9(金)	10:00～	着物リメイク(予定・市民活動支援センター)
10(土)	10:00～	絵画教室(事務所2F)
11(日)	10:00～	文章教室(事務所2F)
24(土)	10:00～	絵画教室(事務所2F)

※予定が変更する場合があります。ハーモニーネット未来（TEL0865-63-4955）までお問い合わせください。
※事務所とは、ハーモニーネット未来のことです。
※「ぴゅあそ～る」（事務所 2F）毎週火曜日 10:00～
※移動ひろば「あおぞら」　毎週火・木曜日 10:00～
※「おはなしの会」毎週水曜日 10:30～、
※「お誕生日会」　毎月最終水曜日（おはなしの会終了後）

「レシート１枚」で できる支援！

毎月 11 日はイエローレシートの日

買い物をしたら、店内設置のボックスに黄色いレシートを入れてください。
1%が、ハーモニーネット未来に寄付されます。

場所：マルナカ笠岡店

大井児童館イベント

わくわくウイーク

対象:どなたでも

☆日　程：3/26(金)～4/4(日)※3/30(火)はおやすみ
☆時　間：毎回 **13:30～14:30**
☆場　所：大井児童館**園庭**　【雨天中止】
☆参加費：無料
☆内　容：集まったメンバーで遊びを選ぼう！
　　しっかり体を動かして、外遊びを楽しもう！
☆持ち物：お茶・あせふきタオル・帽子・運動靴

☆運動靴で来てね！
☆幼児さんは、親子でご参加ください

ハッピーイースター

☆日　程：4/4(日)　対象:幼児（年中児以上)・小学生
☆時　間：**13:30～15:00**
☆場　所：大井児童館**園庭**　【雨天の場合はテラス】
☆参加費：ひとり 300 円(材料代)
☆講　師：津田明子（英語教室講師）
☆内　容：イースターのイベントを体験してみよう！
　・イースターエッグイベント
　・エッグハント　他、英語でゲーム
☆持ち物：お茶・マスク・汚れてもよい服装
☆定員：先着 20 名(保護者を含みません)
☆申込開始日：３月 22 日(月)10 時～(先着だよ)